

教員名	兵藤 清一 (ひょうどう せいいち)
専門分野	<p><u>教育実践学 (カリキュラムデザイン論, 授業デザイン論)</u></p> <p>教育実践学とは, 1990 年代以降, 認知科学等を基盤に成立し発展している学習科学 (Learning Sciences) の研究を背景に, 教育の実践と理論との融合を目指し, 教員の「実践的指導力」(学校現場が直面する課題に対応し得る高度な専門性に基づく実践力・応用力) を高めていくための教育研究分野の学問です。</p> <p>具体的には, 学習科学の研究成果を踏まえて, 社会科, 総合的な学習の時間・生活科を中心に, 未来を切り拓く子どもたち (特に「次代の郷土を創る人材」) に求められるコンピテンシー (資質・能力) ベースのカリキュラムデザイン (カリキュラム開発及びカリキュラム・マネジメント), 授業デザインについて研究しています。</p>
担当している主要な授業	<p>授業研究の開発実践 (教職大学院科目)</p> <p>授業開発の理論と実際 (教職大学院科目)</p> <p>エビデンスに基づく教育政策・事業分析 (教職大学院科目)</p> <p>地域とともにある学校の経営 (教職大学院科目)</p> <p>学校改善の実践的研究 (教職大学院科目)</p> <p>総合的な学習の時間の指導法 (学部・教職課程科目) 等</p>
卒業研究に関する情報	<p><u>小学校及び中学校の授業デザインに関する研究をしてみたい方</u> (社会科, 総合的な学習の時間, 小学校の生活科を中心としています。その他の教科等でも構いません), 特に, 子どもの学びの見取りやコンピテンシー (資質・能力) ベースのカリキュラムデザイン (カリキュラム開発及びカリキュラム・マネジメント) について興味・関心がある方, 「主体的・対話的で深い学び」, 「アクティブ・ラーニング」, 「個別最適な学びと協働的な学びの一体的充実」等, 新学習指導要領 (平成 29 年告示) に関連する子どもの学びについて探究してみたい方を対象としています。</p>
受け入れ人数	3 人
面談の方法	<p>面談を希望する場合は, 事前に日時の調整を行いますので, 下記のメールアドレスにご連絡ください。</p> <p>E-mail: hyodo.seiichi.nz@ehime-u.ac.jp</p>
学生へのメッセージ	<p><u>大学生生活及び卒業研究において, 最も大切なことは, 「こだわりをもち, 粘り強く, 最後までやり抜くこと」</u>だと思います。特に「こだわり」=教育に関する興味や関心, 疑問, 明らかにしたいこと, 知りたいこと等をもつことが大切です。学生時代に「こだわり」をもって一つのことを最後までやり遂げた経験がある人は, 学校現場で子どもたちの前に立った時, どんな状況においても自分の強みを発揮することができると思います。</p> <p>「絶対に学校の先生になりたい」という熱意・情熱をもつとともに, 卒業研究を通して, 実践と理論の往還・融合を基に, 未来を切り拓いていく子どもたちのためのカリキュラムや授業をデザイン (カリキュラム及び授業を開発・実践・省察・改善) しマネジメントしていく力, つまり「学校現場で活用できる (使える) 力=実践的指導力」を身に付けていきましょう。以下の URL もご参照ください (<u>兵藤清一研究室で検索してください</u>)。 https://sites.google.com/view/hyoudoukennkyusitu/</p>